



# ユーラシアン フォーラム

VOL-3

1998年1月発行

## インターカレッジ文化講座 今年のテーマ “国家、民族、宗教を超えて”

1998年度の文化講座のスケジュールが決定しました。本年もよろしく願いたします。

<b>前期</b>		4月のテーマ<民族と国家の狭間>
4月11日(土)	「オロチョン人として生きて」	岩間 典夫 / オロチョン族として生きた日本人
4月17日(金)	「ユーラシアの未来と北朝鮮の行方」	辺 真一 / コリアンレポート編集長
4月24日(金)	「渤海王の使者」	高橋 義夫 / 作家
		5月のテーマ<ユーラシアの潮流>
5月15日(金)	「文明の交差路で考える」	服部 英二 / ユネスコ事務局長顧問
5月22日(金)	「世界史を変貌させたモンゴル」	杉山 正明 / 京都大学教授
5月29日(金)	「イスラムとトルコ民族主義の潮流」	坂本 勉 / 慶応大学教授
		6月のテーマ<フィールドレポート>
6月 5日(金)	「キルギス牧畜民の暮らし」	吉田 世津子 / 都立大学博士課程
6月12日(金)	「キクート民族の暮らしと民話」	山下 宗久 / 千葉大学博士課程
6月19日(金)	「イテリメンの暮らしと言語」	小野智香子 / 千葉大学博士課程
<b>後期</b>		10月のテーマ<ユーラシアの古代文字>
10月17日(土)	「ユーラシア古代文字の系譜」	森安 孝夫 / 大阪大学教授
10月23日(金)	「モンゴル高原の古代トルコ語碑文調査」	片山 章雄 / 東海大学助教授
10月30日(金)	「ユーラシア古代“記号文字”の謎」	宇田川 洋 / 東京大学教授
		11月のテーマ <歴史を作った人々>
11月13日(金)	「李陵と司馬遷」	林 俊雄 / 創価大学教授
11月20日(金)	「ユーラシアの交易とソグド人」	吉田 豊 / 神戸市外大助教授
11月27日(金)	「マルコポーロの謎」	杉山 正明 / 京都大学教授
		12月のテーマ<フィールドレポート>
12月 4日(金)	「ダルベルジンテペ(ウズベキスタン)の発掘調査」	堀 暁 / 古代オリエント博物館研究部長
12月11日(金)	「内蒙古大岱地区遺跡群調査について」	大員 静夫 / 東京大学助教授
12月18日(金)	「寧夏回族自治区原州遺跡群の調査」	谷一 尚 / 共立女子大学助教授
■ 会 場: 東京都芸術劇場(池袋)・5階会議室 ■ 日 時: 平日=6時半~8時半、土曜日=2時~4時		

### ◆ただ今会員、会報会員、ニュースレター購読者(1部100円/送料込み)、ボランティア募集!

多岐にわたるようになったクラブの活動を財政的に支えるクラブの正会員等を募集するカラーパンフレットが昨年暮れに完成しました。一人でも多くの方に目を通していただきたいと願っており、パンフレットの配布に皆様のご協力をお願いします。

<クラブに関するお問い合わせ先>

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺 2485-2-204 TEL 044-965-2536 FAX044-965-2537  
E-MAIL PAF02266@niftyserve.or.jp ユーラシアンクラブ 神奈川事務所 担当 大野まで

# ユーラシア ニュース

## ◆ナナイの青年が重病。 救済をアピール

前回の12月号でお伝えしたアムール流域の少数民族村(ナナイ)シカチアリのクラブ会員でもある女性の息子イーゴリ・アクタンコさん(28)が軍隊内の暴力が原因で脊髄空洞症を患い、苦しんでいます。クラブでは村おこしを手伝っていますが、まだまだ村に仕事もなく、入院治療費用も捻出できない状況。クラブでは、年末、大野がシカチアリ村を訪問、ジャンナさんを訪問、翌日ハバロフスクと一緒に移動して担当医師に面会。状況説明と家族の願いに道を開くには担当医師から日本の医師に向けた治療状況と今後の見通しについて医師同士のメッセージの交換が必要であることを訴えました。担当医師は、正月明けにも要望に答えること約束しました。

## ◆シカチアリ村から 姉妹村(友好都市)パートナー 募集の依頼書

クラブ創設以来、ユーラシアンクラブに深い係わりのある同村の新村長ニーナさんが日本の姉妹村探しに依頼書を託しました。ニーナさんは、1995年12月、縫製技術研修生グループの一員として富山県のクラブ幹事東林さんが経営する工場に滞在し、東京で開催されたクラブ恒例の忘年会に参加したこともある英語が堪能な教師。昨年12月初めの村長選挙に立候補し、4人の候補者の中から接戦で当選しました。

ユーラシアンクラブ代表 大野様  
ロシア連邦 シカチアリ村 村長ニーナ  
私はユーラシアンクラブに対し、シカチアリ村と日本の町または村と、実務的、文化的友好的な関係を築くため、即ち姉妹都市関係を築くための援助をお願いいたします。

今回自宅を訪ね話し合いましたが、村の住宅建設、道路整備から村の産業育成など多くの構想を持って精力的に上部行政機関を訪ねるなど元気一杯でした。ニーナさんを知っている方はぜひ激励の手紙を書いてあげてください。日本語でも英語でもかまいません。シカチアリ村は、アムールの岸辺の丘に住居が立ち並ぶ先住少数民族ナナイの村。人口350人で伝統的な産業は、アムール漁業など自然資源に依存しています。クラブでは、村の女性の要望に基づいてミシン40台、布地などを無料で送り続け、伝統的な装飾を織り込んだ伝統的産業育成に協力し

てきました。今後はナナイ民族の伝統的産業である漁業を基盤とした加工産業育成を検討したい考えです。

## ◆杉山さん文房具30キロ ナナイの小学校に贈呈

昨年暮れ、アムール河畔のナナイの民族村シカチアリの訪問した杉山一道会員(静岡県在住)が村の小学校を訪ね、校長に文房具を贈呈しました。絵の具、画用紙、クレヨン、鉛筆、ハサミ、カッターから遊具など。ちょうどロシアのヨールカ祭の最中で仮装やダンスに興じていた児童や学校長は、杉山サンタクロースに大喜び、感謝されました。杉山会員の文房具贈呈は、これで3回目。

## ◆民族村の将来を背負う 若者を日本へ

去る12月、クラブ代表大野がシカチアリ村を訪問した際、民族村の将来を背負う若者(19~20才)を、将来民族村の自立を助けるための研修を日本で行うことを約束。現時点では、ウラジーミルくん、ビョートルくん、マリアさんら4人が候補。

## ◆ユーラシア芸能祭実行委員会結 成を呼びかけ

クラブではチュコト半島の舞踊団「エルギロン」を招聘すべく努力してきましたが準備不足で次年度送りとし、本年開催は見送りました。

しかしエルギロンを契機に毎年継続して芸能祭を開催できる長期的枠組み作りに取り組むことにしました。そのため

- 1)ユーラシアの芸能専門家、実演家、文化交流団体、公立文化施設、協力団体、機関と実行委員会を結成する。
  - 2)2月16-18日、新国立劇場で開催される舞台芸術フェアにユーラシア芸能祭実行委員会開催を募集するブースを出展し、資料を提供、「ユーラシア芸能祭」開催を呼びかける。
  - 3)昨年に続き小出郷文化会館で芸能祭を開催する。
  - 4)秋口に芸能祭開催実行委員会を開催する。
  - 5)参加ホールを確定、芸能祭実施概要確定
  - 6)11月、助成金申請
  - 7)民間企業・メセナ協力要請
  - 8)1999年、各地のホールで地域の民族芸能グループ等と協力して開催
- 以上を年内のプログラムとして実行する予定です。

## ◆渤海船で三井商船と話し合い

渤海建国1300年記念事業として提案した「現代の渤海船」で、近く環日本海交流

促進懇話会を開催。「渤海船」の構想と具体化のための段取りについて話し合うことになった。

「渤海船」は、「環日本海交流の船」の性格を持たせて、船上で環日本海芸術祭や歴史、文化、経済等のセミナーを開催しながら、渤海国の都や日本に向けて渤海使節が往還した「日本道」や使節が渡海した港湾関連遺跡などを訪ねる。少数民族を初め、環日本海の諸民族が交流する異文化交流の船といった性格を持たせ、毎年実施できる条件作りを目指します。建国1300年の今年、連休に渤海国を構成した人々の子孫でもある沿海州、アムールの少数民族を訪ね、交流します。

## ◆1997年クラブ忘年会 15民族76人参加で盛会

毎年恒例となった忘年会は、好評のうち終了。(今回もカニを楽しんでもらいました)過去最高の15民族の在日ユーラシア人たちが参加。

## ◆モンゴル人留学生のニュース レター「サインバイノー」新聞N02 が発刊。

モンゴル人留学生の目で日本のモンゴル事情を伝える努力がみられます。それによると東京巣鴨の「シリシゴル」に加えて「遊牧民」などのモンゴル料理店そして旭鷲山が出した「ちゃんこ・鷲」もモンゴル料理をメニューに加えそうだとか。

<問い合わせ>

〒110-0001台東区谷中3-4-4-203

オフィス遊牧民 ガンバートルあて

Tel/Fax 03-5685-3986

## ◆モンゴル・コミュニケーションペーパー

### モンゴル・レターNO5 が完成!

モンゴルの現在を伝える情報誌「モンゴル・レター」が不定期発行から季刊となって、定期的に皆さんのお手元にお届けします。定期購読ご希望の方は、下記であてお問い合わせ下さい。

<問い合わせ>

〒121-0053 足立区佐野 2-12-11

栗原広之 あて Tel/Fax 03-3650-8438

## ◆チェチェン自治共和国

### 少年少女舞踊団の招聘を検討

捨て身で戦車を止めた寺沢住職(日本山妙法寺)が、伝統文化を継承するグロズクイ舞踊団を日本に招聘し、合わせてチェチェンの実情を写した写真展を開催したいとのこと。日本では、市民平和基金を中心に協力を呼びかける予定。当クラブも呼掛けに協力します。

# 沿海州「シカチアリヤン村」からのレポート アムール川のほとりから

クラブ会員 杉山一道

暮れの二十九日の夜、クラスニヤールからシカチアリヤンに到着し、その脚で村の学校に、持参した学用品等を届けてきました。

学校では新年を迎えるお祭りのヨールカ祭を行っている最中でした。

子供たちは劇でもやっていたのでしょうか、いろいろな衣装で仮装していました。

この学校は生徒数約八十人十一学年制で六歳から十六歳までの子供が学んでいます。小学校と中学校が一緒になった形です。学用品をは運ぶのは一昨年の九月、昨年の五月に続き今回で3度目になります。

前回運んだときに、教頭のニーナさんから絵を描くための用具が欲しいと云われたので、今回は水彩画を描くための用具を中心に持って行きました。

尚、教頭のニーナさんは昨年十二月にシカチアリヤン村の村長になり、村長の仕事が忙しくて今では週に一時間教えているだけだそうです。

持参していた物を列記しますと、水彩スケッチセット、絵の具、絵筆、画用紙クレパス、クレヨン、鉛筆、消しゴム、カッターナイフ、はさみ、黒板消し、ビールボール、テニスボール、クッキー、キャンディー等々です。

今回も重量にして三十キロ以上になりました。

重量オーバーで超過料金を取られてしまいました。これらの学用品はすべて私の友人たちと、文房具の卸会社から提供されたものです。

私の家には今回持って行ききれなかつた学用品がまだ残っています。今後クラスニヤール村、キルギス、モンゴルにも学用品を提供したいと考えています。

文房具や玩具を下記宛にお送り下さいましたら望外の喜びとなります。

ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



〒410-0823 沼津市秋葉町424-2 杉山一道

TEL 0559-32-5959

## キルギスタン首都・ビシケク第一中等学校に日本語教材を届けてきました。

ユーラシアンフォーラム紙 Vol-2 で募集させていただいた日本語教材が、当クラブのリスベクさんの手によって「ビシケク第一寄宿中等学校」に届けられました。小杉さんをはじめご協力くださった皆さま、どうもありがとうございました。

当クラブでは、今後も国家、民族、宗教にこだわることなく継続的に支援して参ります。



リスベクさんが届けてくれた本を手にニコリ!

### シルクロードを自転車で走る仲間募集

極力文明に頼らずに人力で移動し、シルクロードを学びながら現代社会のあり方や自らのあり方を考えるという「ツール・ド・シルクロード 20 年計画」を実践している「地球と話す会」がシルクロードを自転車で走る仲間を募集しています。昨年までの5回の遠征で西安からクチャまでの約3,600kmを走破。資料の請求は、500円分の切手を同封し、右記まで。

### <地球と話す会>

〒186-0003  
東京都国立市富士見台2-37-9-301  
Tel 042-573-7667 Fax 042-573-7668

### カースト下層困難者の自立支援を呼掛け

ネパールで活動する三宅静夫さん(50才・神戸市職員)が、昨年11月に訪れたネパール国ダンプール市マホタリ村の人々に、自立のための土地を確保。教室を建て、家畜の飼育や読み書きを教え、

### キルギス中学校からのお礼状

ユーラシアンクラブの皆様

小包を頂戴しました。どうもありがとうございます。深くお礼申し上げます。お送りいただいたお品はどれもすばらしく、一同大変喜んでおります。内容深く、しかも高度な印刷のお陰で読みやすく、現代的で装飾豊かなデザインの日本語教科書1~3、詩の教科書など貴クラブよりいただいた品々は、私どもの中学校の生徒が学ぶのに全て最適なものばかりです。また、良質のチョークや消しゴムも大変嬉しく頂戴しました。

ご協力くださいました方々及びクラブの皆様のご健康と益々のご発展を心からお祈り申し上げます。貴クラブの皆様が、世界各国で日本語学習を志す学生や、日本語教育に携わる人々を応援して下さる貴重な活動が、今後も継続発展されますよう希望しております。

生徒たちが今後、日本語を良く習得しましたとご報告出来ますことを、私ども一同期待し、楽しみにしております。

敬具

1997年12月25日

ビシケク第一寄宿中学校校長

N・パイマトフ

自立支援を応援しています。今後、「ネパール紙」の販売による活動を検討しています。目標額50万円。現地の受入団体は「NCWA」(女性と子どもの幸せのためのNGO/在ネパール)。<ネパール紙> 厚手 1枚180円 薄手 1枚120円 問い合わせは、下記まで。

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 1-2-3 二瓶ビル4階  
インドレストラン「神戸ガンダーラ」  
Tel 078-391-4975 Fax 078-392-4699

# ユーラシア ニュース

## ◆ナナイの青年が重病。 救済をアピール

前回の12月号でお伝えしたアムール流域の少数民族村(ナナイ)シカチアリのクラブ会員でもある女性の息子イーゴリ・アクタンコさん(28)が軍隊内の暴力が原因で脊髄空洞症を患い、苦しんでいます。クラブでは村おこしを手伝っていますが、まだまだ村に仕事もなく、入院治療費用も捻出できない状況。クラブでは、年末、大野がシカチアリ村を訪問、ジャンナさんを訪問、翌日ハバロフスクに一緒に移動して担当医師に面会。状況説明と家族の願いに道を開くには担当医師から日本の医師に向けた治療状況と今後の見通しについて医師同士のメッセージの交換が必要であることを訴えました。担当医師は、正月明けにも要望に答えること約束しました。

## ◆シカチアリ村から 姉妹村(友好都市)パートナー 募集の依頼書

クラブ創設以来、ユーラシアクラブに深い係わりのある同村の新村長ニーナさんが日本の姉妹村探しに依頼書を託しました。ニーナさんは、1995年12月、縫製技術研修生グループの一員として富山県のクラブ幹事東林さんが経営する工場に滞在し、東京で開催されたクラブ恒例の忘年会に参加したこともある英語が堪能な教師。昨年12月初めの村長選挙に立候補し、4人の候補者の中から接戦で当選しました。

ユーラシアクラブ代表 大野様  
ロシア連邦 シカチアリ村 村長ニーナ  
私はユーラシアクラブに対し、シカチアリ村と日本の町または村と、実務的、文化的友好的な関係を築くため、即ち姉妹都市関係を築くための援助をお願いいたします。

今回自宅を訪ね話し合いましたが、村の住宅建設、道路整備から村の産業育成など多くの構想を持って精力的に上部行政機関を訪ねるなど元気一杯でした。ニーナさんを知っている方はぜひ激励の手紙を書いてあげてください。日本語でも英語でもかまいません。シカチアリ村は、アムールの岸辺の丘に住居が立ち並ぶ先住少数民族ナナイの村。人口350人で伝統的な産業は、アムール漁業など自然資源に依存しています。クラブでは、村の女性の要望に基づいてミシン40台、布地などを無料で送り続け、伝統的な装飾を織り込んだ伝統的産業育成に協力し

てきました。今後はナナイ民族の伝統的産業である漁業を基盤とした加工産業育成を検討したい考えです。

## ◆杉山さん文房具30キロ ナナイの小学校に贈呈

昨年暮れ、アムール河畔のナナイの民族村シカチアリアンを訪問した杉山一道会員(静岡県在住)が村の小学校を訪ね、校長に文房具を贈呈しました。絵の具、画用紙、クレヨン、鉛筆、ハサミ、カッターから遊具など。ちょうどロシアのヨールカ祭の最中で仮装やダンスに興じていた児童や学校長は、杉山サンタクロースに大喜び、感謝されました。杉山会員の文房具贈呈は、これで3回目。

## ◆民族村の将来を背負う 若者を日本へ

去る12月、クラブ代表大野がシカチアリ村を訪問した際、民族村の将来を背負う若者(19~20才)を、将来民族村の自立を助けるための研修を日本で行うことを約束。現時点では、ウラジーミルくん、ビョートルくん、マリアさんら4人が候補。

## ◆ユーラシア芸能祭実行委員会結 成を呼びかけ

クラブではチュコト半島の舞踊団「エルギロン」を招聘すべく努力してきましたが準備不足で次年度送りとし、本年開催は見送りました。

しかしエルギロンを契機に毎年継続して芸能祭を開催できる長期的枠組み作りに取り組むことにしました。そのため

- 1)ユーラシアの芸能専門家、実演家、文化交流団体、公立文化施設、協力団体、機関と実行委員会を結成する。
- 2)2月16-18日、新国立劇場で開催される舞台芸術フェアにユーラシア芸能祭実行委員会開催を募集するブースを出展し、資料を提供、「ユーラシア芸能祭」開催を呼びかける。
- 3)昨年に続き小出郷文化会館で芸能祭を開催する。
- 4)秋口に芸能祭開催実行委員会を開催する。
- 5)参加ホールを確定、芸能祭実施概要確定
- 6)11月、助成金申請
- 7)民間企業へメセナ協力要請
- 8)1999年、各地のホールで地域の民族芸能グループ等と協力して開催  
以上を年内のプログラムとして実行する予定です。

## ◆渤海船で三井商船と話し合い

渤海建国1300年記念事業として提案した「現代の渤海船」で、近く環日本海交流

促進懇話会を開催。「渤海船」の構想と具体化のための段取りについて話し合うことになった。

「渤海船」は、「環日本海交流の船」の性格を持たせて、船上で環日本海芸術祭や歴史、文化、経済等のセミナーを開催しながら、渤海国の都や日本に向けて渤海使節が往還した「日本道」や使節が渡海した港湾関連遺跡などを訪ねる。少数民族を初め、環日本海の諸民族が交流する異文化交流の船といった性格を持たせ、毎年実施できる条件作りを目指します。建国1300年の今年は、連休に渤海国を構成した人々の子孫でもある沿海州、アムールの少数民族を訪ね、交流します。

## ◆1997年クラブ忘年会 15民族76人参加で盛会

毎年恒例となった忘年会は、好評のうちに終了。(今回もカニを楽しんでもらいました)過去最高の15民族の在日ユーラシア人たちが参加。

## ◆モンゴル人留学生のニュース レター「サインバイノー」新聞N02 が発刊。

モンゴル人留学生の目で日本のモンゴル事情を伝える努力がみられます。それによると東京巣鴨の「シリシゴル」に加えて「遊牧民」などのモンゴル料理店そして旭鷲山が出した「ちゃんこ・鷲」もモンゴル料理をメニューに加えそうだとか。

<問い合わせ>

〒110-0001台東区谷中3-4-4-203

オフィス遊牧民 ガンバートルあて  
Tel/Fax 03-5685-3986

## ◆モンゴル・コミュニケーションペーパー

### モンゴル・レターNO5が完成!

モンゴルの現在を伝える情報誌「モンゴル・レター」が不定期発行から季刊となって、定期的に皆さんのお手元にお届けします。定期購読ご希望の方は、下記であてお問い合わせ下さい。

<問い合わせ>

〒121-0053 足立区佐野 2-12-11

栗原広之 あて Tel/Fax 03-3650-8438

## ◆チエチエン自治共和国

### 少年少女舞踊団の招聘を検討

捨て身で戦車を止めた寺沢住職(日本山妙法寺)が、伝統文化を継承するグロズクイ舞踊団を日本に招聘し、合わせてチエチエンの実情を写した写真展を開催したいとのこと。日本では、市民平和基金を中心に協力を呼びかける予定。当クラブも呼掛けに協力します。

**写真展「シルクロード自転車紀行」**

1997年夏、中国・新疆ウイグル自治区トルファンからクチャまでを、一般人が自転車で走破した記録です。

日時 1月26日(月)～2月6日(金)

9時～15時(土日閉店)

会場 さくら銀行国立支店

JR 国立駅南口

問い合わせ 地球と話す会

モンゴル人留学生主催の交流会

**ハワリン・バヤル(春の式)**

在日モンゴル人留学生が企画した交流会。モンゴル語での歌合戦や、子どもたちのコンサートなど内容盛り沢山。モンゴル料理もあります。

日時 3月14日(土)18時半開場

場所 東京芸術劇場 5階 大会議室

JR 池袋駅西口下車徒歩1分(池袋西口公園前)

ユーラシアンクラブ共催

問い合わせ ユーラシアンクラブ 加藤まで

Tel/Fax 03-5685-3986

お待たせしました。今年も開催します。

**ユーラシアンクラブ・民族料理の会**

昨年も実施し、大好評の民族料理の祭典「民族料理を食べる会」のスケジュールが決まりました。

昨年同様、アイヌ・キルギス・サハ・ウイグル・モンゴルの各民族料理を予定しています。詳細は当紙次号でお知らせします。問合せは、ユーラシアンクラブ 大野まで。

日時 2月22日(日) 14時～を予定

場所 東京都杉並区 セシオン杉並(昨年と同じ)

**書籍紹介**

4月11日の文化講座の講師でもある岩間典夫氏に丹念な取材を重ねて著された。山梨に生まれた少年が、オロチョン族として懸命に生きてきた半生。民族とは、国家とは何かを考えさせる。

『祖国まで 岩間典夫の半世紀』

坂本龍彦・著 出版(株)恒文社

1,800円

<MEMO>